

平成 1 9 年度

事 業 概 要



国民の森林 国有林

平成 1 9 年 4 月 2 6 日

中部森林管理局

平成19年度の予算概要

1 歳入予算

(単位：百万円)

区 分		平成19年度当初	平成18年度当初
業務収入	林 産 物	3,560	3,744
	分 収 育 林	16	44
	計	3,576	3,788
林野土地売払代		816	1,918
財産貸付料等収入		606	653
雑 収 入		78	73
合 計		5,076	6,432

注：一般会計繰入額を除く

2 歳出予算

(単位：百万円)

区 分		平成19年度当初	平成18年度当初
給 与 経 費		4,862	4,983
事業運営経費	業 務 費	1,872	1,915
	分 収 育 林 費	41	33
	施 設 費	148	141
	森 林 環 境 保 全 整 備 費	(156) 4,288	3,820
	官 行 造 林 費	36	34
	そ の 他	155	161
	計	(156) 6,540	6,104
林道施設等災害復旧事業費		(974) 177	(177) 71
国有資産等所在市町村交付金		408	398
治 山 事 業 費		(10,122) 6,816	(1,229) 6,587
治 山 工 事 諸 費		(20) 61	(13) 63
そ の 他		206	232
合 計		(11,272) 19,070	(1,406) 18,440

注：()は繰越明許等で外書

(参考) 職 員 数	715人	732人
------------	------	------

事業概要のポイント

中部森林管理局は富山、長野、岐阜、愛知の４県を管轄し、管轄区域の１９％、全国の国有林野の９％に当たる約６６万 ha の国有林野を管理経営しております。

管内の国有林は、標高 16 m の太平洋岸から「日本の屋根」といわれる日本アルプス（最高峰：奥穂高岳 3,190 m）の山岳地帯まで幅広く分布しており、その多くは急峻な脊梁山脈や河川の源流部に位置しているほか、中央構造線、フォッサマグナ等の影響により地形は急峻・複雑で、地質は脆弱な所が多いため、下流域への安定的かつ良質な水の供給や山地災害の防止等、国有林の果たす役割は大きいと考えられます。

森林の状況については、高山帯などを除いた林地面積 54 万 ha のうち人工林は 33％、このうち 42％がカラマツとなっており、天然林については、日本三大美林として有名な木曽ヒノキをはじめ、ブナ、モミ、ツガ等多様な樹種から構成されています。

また、管内の国有林は、優れた自然環境を有する森林や希少な野生動植物が生息・生育する森林も多く有しています。

国有林野の管理経営に当たっては、公益的機能の維持増進を旨とし、民有林関係者との一層の連携を図りつつ、地球温暖化防止をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給等に率先して取り組み、「美しい森林づくり」を推進することとしています。

事業の推進に当たっては、管内の国有林野の果たしている様々な役割とそれに関わる人々に着目した「３つの交流」の考え方を基本として引き続き取り組むこととし、職員一人一人が発案者となり局・署等が一体となって住民の皆様や団体、地域等と連携を図りながら、開かれた「国民の森林」の実現に向け様々な取組を積極的に推進し、その充実と定着に努めていくこととしています。

○ 3つの交流

【水の交流】

管内の国有林野は、我が国有数の河川の源流域となっているほか、急峻な山岳地形や断層を有する地質構造となっていることから、下流域への安定的かつ良質な水の供給や山地災害の防止に資する森林づくりが重要である。

このため、命の源である水を育み国土を保全する森林を上下流が連携して守り育てる取組を積極的に進め、各流域における水を通じた交流を推進する。

【木の交流】

管内の国有林野は、伝統的な建造物等に用いられる樹種やカラマツ、ヒノキ等の育成林など、豊富で多様な森林資源を有しているとともに、全国有数の木材生産地や木材流通拠点を抱えており、木材の供給に重要な役割を果たしている。

このため、民有林関係者との一層の連携による木材の安定供給など、地球温暖化の防止や循環型社会の構築に向け、生産者から消費者までの木を通じた交流を推進する。

【人の交流】

管内の国有林野は、「日本の屋根」と言われる日本アルプスの山岳地域から中京圏の都市近郊林まで幅広く分布しており、市民や団体が行う森林とのふれあいや森林づくり活動への要請など、その内容も多岐にわたっている。

このため、森林の特性を踏まえた各種活動を地域との協働や連携を図りながら、人の交流を促進する。

主な取組

新規事業 **新**

1 公益的機能の発揮に向けた取組

管内の国有林野は、「日本の屋根」と言われる日本アルプスを中心とした脊梁山脈や、河川の源流地域などに広く分布

安全・安心な国土管理の要である国有林野の国土保全、水源かん養に果たす役割、国有林野に対する国民の期待等を踏まえ、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策への率先した取組等を推進

(1) 森林整備事業

公益的機能の高度発揮や地球温暖化防止対策を推進するため、森林施業を計画的に推進することとし、間伐の推進等を通じて、伐採年齢の長期化、複層林化、天然力の活用等による針広混交林化を推進

【具体的には】

18年度補正予算も活用しつつ間伐等の森林整備を着実に実施

京都議定書の目標達成のため吸収源としてカウントできる森林を効率的かつ効果的に増やしていくとともに、吸収量の報告に必要なデータを整理



間伐作業後の森林



針広混交林

森林整備予定事業量

(単位: ha)

区 分	植 付	保 育	間 伐
平成19年度当初	64	4,806	4,519
平成18年度当初	75	3,623	4,200

注1) 植付は新植面積

2) 保育は下刈、つる切、除伐の合計であり、保安林整備を含む。

3) 間伐は保育間伐及び保安林整備を含む。

4) 本表は、前年度からの繰越分を含む。

(2) 林道事業

適切な森林の整備・保全を推進するための林道等路網整備については、民有林林道等の開設計画とも調整を図りつつ、現地の実態に即した工種・工法等の採用と併せて、低コスト化の推進及び間伐材等の木材利用を拡大

また、平成18年7月の豪雨災害により被害を受けた箇所について、引き続き早期復旧に取り組む。

路網整備予定事業量

(単位: km)

区 分	林 道 新 設	作 業 道	災害復旧
平成19年度当初	5.9	13.0	3.5
平成18年度当初	9.8	17.1	0.5

(3) 治山事業

管内の国有林野の多くが急峻な地形であることや、日本列島を大きく分ける2つの構造線(断層)が走っていることなど、山地災害の危険性が高い地域であることから、国民が安心して暮らせる社会の実現に向け計画的かつ効率的な治山事業を実施

特に、民有林と国有林とが連携して緑の再生を効果的に推進していくため、特定の流域などで民有林治山事業等との有機的な連携を推進(管内各県との治山事業連絡調整会議の開催を通じて連携)

また、事業の実施に当たっては、間伐材等の木材を使用した木製山腹工等の親自然型工法を積極的に採用

さらに、平成18年7月豪雨災害の被害箇所など、近年発生した台風、集中豪雨等の激甚な災害の早期復旧を推進

治山事業関係の主な予定事業量

工 種	平成19年度当初		平成18年度当初	
溪 間 工	238	基	123	基
山 腹 工	115	ha	95	ha
護 岸 工	1,604	m	678	m
集水ボーリング	7,090	m	3,715	m
保安林整備	3,655	ha	1,860	ha

注: 本表は、前年度からの繰越分を含む。

(4) 森林技術の開発・普及

公益的機能の維持増進に配慮した森林整備を図るため森林技術の開発・普及の推進

【具体的には】

- 〔 地域の特性を踏まえた計画的な技術開発と成果の普及・定着
- フィールド提供等による試験研究機関等との連携強化

2 木材の供給

カラマツやヒノキなど、育成林の間伐等の推進を通じて生産される木材や管内の特産樹種である「木曽ヒノキ」をはじめとする高品質材の供給

民有林関係者との一層の連携により木材の安定供給体制を早期に構築するとともに、樹材種の特性及び需要動向等に応じた効率的かつ計画的な生産・販売を推進

(1) 生産・販売量の確保と低コスト・高効率作業システムへの取組

間伐等の森林整備により搬出される木材の生産量の確保と低コスト・高効率システムの開発・普及

【具体的には】

間伐等の推進に伴い伐採される木材の生産等を通じ生産量を確保
簡易で崩れにくい作業路の整備や高性能林業機械と列状間伐の組合せによる高効率な作業等生産に係るトータルコストの縮減に努める。



作業道の開設



列状間伐



搬出された間伐材

(2) 需要動向に応じた生産・販売の推進

ア 樹材種の特性或需要動向等に応じた戦略的な生産・販売の推進と低価格材等の安定的かつ円滑な販売を推進

【具体的には】

木材の需要動向や木材産業の状況など林産物の生産・販売を巡る状況を的確に把握し戦略的な生産・販売を推進

間伐等の推進に伴い生産される並材や低価格材を安定的かつ円滑に販売するため、新たに各県との協議会議等を通じて民有林関係者との一層の連携による木材の安定供給体制を早期に構築

木曽ヒノキや高齢級人工林など特産樹種の市場動向等の把握による有利販売の推進

(3) 木材の利用促進等

ア 間伐等の森林整備事業を通じて搬出される木材の利用促進を図るため、治山事業等における間伐材等の積極的な利用や国民に対する木材利用の積極的な啓発を推進



局ロビーへ木材製品を展示



「木づかい運動」の垂幕

イ 平成18年度の富山森林管理署の新築に続き、平成19年度も北信森林管理署の新築において持続可能な森林経営が営まれている森林から生産された合法的木材のみを使用

こうした取組を通じ、違法伐採対策を推進するとともに、国有林材が合法・持続可能な木材であること等をPR



「合法木材」で新築した富山森林管理署庁舎(平成18年度)

木材の生産・販売予定量

(単位:千 m^3)

区 分		平成19年度当初	平成18年度当初
伐 採 量	主 伐	41	45
	間 伐	344	303
	計	386	348
生 産 量	素 材	128	113
販 売 量	素 材	128	113

注:区分毎に小数点以下を四捨五入しているため計は一致しない。

< 製品生産量の樹種別内訳 >

(単位:千 m^3)

区 分	平成19年度当初	平成18年度当初	備 考
ヒ ノ キ	62	50	人工林
木曽ヒノキ	6	11	長野県木曽谷地域及び岐阜県産天然ヒノキ
天然サワラ	2	1	
カ ラ マ ツ	37	30	人工林
そ の 他	21	22	
計	128	113	

3 国民の森林としての取組

国有林は国民共通の財産であり、近年の森林に対する国民の要請は公益的機能の発揮のみならず、森林とのふれあいや森林整備等への参加など多様化、高度化

国民の森林に対する要請等を踏まえ、「国民参加の森林づくり」や「森林環境教育」、「地域と連携した取組」等を推進

(1) 国民参加の森林づくりの推進

ア 国民の森林づくり参加への意識の高まりを踏まえ、NPO等の自主的な森林整備活動等を支援するため、フィールドの提供や技術指導等を推進

【具体的には】

森林ボランティア等の継続的な活動の場として、管内10箇所で開催している「ふれあいの森」において、森林整備、自然観察等の活動を支援

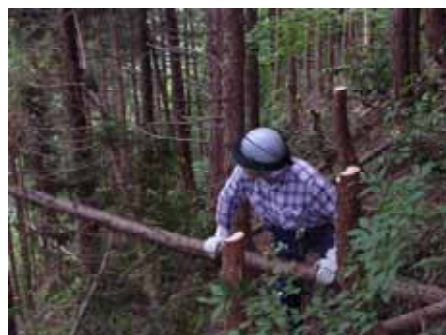
歴史的木造建造物や、各地の祭礼行事、伝統工芸等、次世代に引き継ぐべき木の文化を継承するため「木の文化を支える森づくり」活動を支援

国有林野内の広範な区域を対象とした、民間団体等による森林の保全活動を支援（関田トレイル、城山史跡の森、山のフィールドミュージアム）

企業が森林整備や保全活動を通じて社会貢献活動をしたいというニーズに応えるため、フィールドの提供等による森林づくり活動の受け入れを推進



「南木曽伝統工芸の森」の設定



「ふれあいの森」での間伐作業

イ 体験林業や自然観察等を通じて森林とのふれあいを推進

【具体的には】

森林ボランティア団体等の林業技術の向上や各団体間の情報交換等を目的として、付知峡自然休養林等において、「グリーンボランティア・サミット」を開催

名古屋市を中心とした都市住民を対象として募集を行い、森林整備や森林保全活動等のボランティア活動を行う「名古屋シティ・フォレスター事業」を年15回開催

森林浴発祥の地「赤沢自然休養林」(長野県上松町)において、下流域の名古屋市民、ボランティア団体等による間伐作業や森林散策を行う「木曽川・森づくり・in赤沢」を開催し、上下流域の交流による森林整備の推進

「グリーンボランティア・サミット」



ロープワークの講習会

「木曽川・森づくり・in赤沢」



開会式の様子

(2) 森林環境教育の推進

将来を担う子供達が森林での体験活動等を通じて、生活や環境と森林との関係等について学べるよう、教育関係機関等と連携しつつ環境教育を推進

【具体的には】

学校において「総合的な学習の時間」等を活用し、継続的に体験活動が行える「遊々の森」(学校等と協定)の設定・活用(現在10箇所設定)

学習の指導者である教職員が森林体験活動等の技術を習得するため研修会等を開催

新

小中学校等を対象とした「出前授業」などの森林環境教育の推進



教職員を対象とした森林環境教育



小学生を対象とした森林環境教育

(3) 双方向の情報の受発信の推進

国民の要請の的確な把握や、これを反映した管理経営の推進等、国民との双方向の情報・意見の交換を図る対話型のPR活動を推進

【具体的には】

湯ノ丸高原(東御市外)、乗鞍岳(松本市外)、白山山麓(白川村外)において、トレッキング等を通じた森林とふれあう「森林パノラマウォーク」への参加者を募集して開催

名古屋市を中心とした都市住民を対象に、森林とのふれあいや森林環境教育等を行う「森林ふれあい講座」を定光寺自然休養林ほかで年8回開催

ホームページの充実・工夫と適宜の更新による広報の充実

国有林が所在する地域やNPO等を対象とした広報の推進

国有林モニター(管内30名)から、国有林野の管理経営に対する率直な意見や要望を聞き、今後の管理経営に反映

国有林野の管理経営に対する国民の関心を喚起し理解の促進のため、各種計画の公告・縦覧等において、概要版等によりPR
(19年度樹立森林計画区：伊那谷、木曽川、東三河森林計画区)



パノラマウォーク(H18木曽駒ヶ岳)



国有林野モニター会議

(4) 地域等と連携した取組の推進

ア 地域住民等と協働・連携した森林の整備・保全活動を推進

【具体的には】

地域の特性を踏まえた課題への森林管理署等の現場組織の自主的な取組を助長する「地域発案システム」の推進

イ 民有林関係者との一層の連携と協力関係の確保、上下流の連携強化等のため、国有林野事業として率先して取り組む事項等を定める「流域管理推進アクションプログラム」を策定し、これに基づき地方公共団体等との協定に基づく森林整備等の推進や林業事業体の育成、下流域住民に対する普及啓発等の取組を推進

4 森林環境の保全

管内の国有林野には、優れた自然環境を有する森林や希少な野生動植物が多く生息・生育

国有林野を国民共通の財産として、貴重な森林生態系等の維持・保存を図るため、適切に森林の保全管理を推進

(1) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

ア 自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等を図るため、保護林の設定やモニタリング調査を実施するなど、優れた自然環境を有する森林の適切な保全管理の実施

【具体的には】

絶滅の恐れのある希少野生動植物の保護管理事業として、ライチョウ、イヌワシ、アツモリソウの保護巡視

絶滅の恐れが強いことから、環境省のレッドデータブックにリストされているヤツガタケトウヒ、ヒメバラモミ等の保護のため、各種調査及び保護管理緑の回廊における森林と生息する野生動植物との実態を把握するためのモニタリング調査

森林生態系を保護するため、NPO等と連携した帰化植物の除去活動等新たな保護林の設定など保護林の指定拡大の推進
(ヤツガタケトウヒ、ヒメバラモミ群落などの保護林を検討)

新

希少野生動植物種の生息・生育状況等をデータベース化

イ NPO等多様な主体の参画による自然再生活動等の実施

【具体的には】

〔 双六池での土砂の流入防止など、NPO等と連携した保護活動を推進



北アルプス双六池周辺で池への土砂流入防止のための自然分解性のネット張り作業(H18)

ウ 自然性の高い天然生林を保全するため、入込利用者の増加や登山利用の集中化・大衆化等に伴い、植生荒廃等のおそれのある区域において、入込み実態等に応じきめ細かな保全管理対策を実施

【具体的には】

管内の日本百名山(38座)を中心に、グリーン・サポート・スタッフによる入込み利用者等への指導・啓発活動を実施

グリーン・サポート・スタッフ(森林保護員):天然生林における植生荒廃等の状況把握や入込利用者への利用マナーの指導及び普及啓発活動等を行うための臨時雇用職員で平成18年度からの取組



白駒池周辺での活動風景

(2) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理

ア 林野火災、森林病虫害等の森林被害、廃棄物の不法投棄等の未然防止のため、パトロールや地元自治体・ボランティア等と連携した清掃活動等の実施

【具体的には】

地元関係機関やボランティア等と連携し不法投棄防止一斉パトロール等を実施

関係市町村や山岳関係団体等とで構成する高山植物等保護対策協議会等による高山植物の保護管理

県や地域と連携し、松くい虫やカシノナガキクイムシの被害対策



自治体等と合同パトロール



高山植物の保護管理

5 地域振興への寄与

管内の国有林は、地域振興や国民の保健・文化・教育的利用に活用

公益的機能の発揮との調整を図りつつ、魅力ある「レクリエーションの森」の整備・活用等を推進するとともに、地域における産業振興等に必要な売り払いを実施

(1) 公衆の保健のための活用の推進

魅力ある「レクリエーションの森」の実現に向け、設定の見直しを推進するとともに、民間活力を活かした施設の整備やソフトの提供等に取り組む。

【具体的には】

- 新** 地域関係者の意見等を踏まえ「レクリエーションの森」の設定自体の見直しを実施
- 新** 「レクリエーションの森」の整備・管理を自主的に行う協議会について、地元自治体や地域関係者の協力を得つつ設置
- 新** 「レクリエーションの森」の整備・管理に要する資金、資材や労力を提供してもらえる企業やNPO等の募集に取り組む。
- 新** NPO等と連携した自然教室等の活動プログラムの提供や地元関係者とタイアップした地場製品の販売など、ソフト対策の充実に取り組む。
「レクリエーションの森」利用者からの協力を得つつ、森林環境整備推進協力金制度(募金等)の充実を図る。

(2) 国有林野の活用等の適切な推進

国有林野以外の土地については、事業遂行上不可欠なものを除き可能な限り売り払いを推進

(参 考)

「平成１９年度伐採量及び製品生産量」(当初予定)

○伐 採 量 (主間伐別) (単位：千 m^3)

区 分		数 量			
		富山県	長野県	岐阜県	愛知県
伐 採 量	主 伐	3	2 3	1 4	2
	間 伐	5	2 1 1	1 1 2	1 6
	計	7	2 3 4	1 2 6	1 8

○伐 採 量 (樹種別) (単位：千 m^3)

区 分		数 量			
		富山県	長野県	岐阜県	愛知県
ヒ ノ キ		-	9 0	5 4	1 4
木曽ヒノキ		-	9	-	-
天然サワラ		-	3	-	-
カ ラ マ ツ		-	1 0 6	2 0	-
そ の 他		7	2 5	5 2	4
計		7	2 3 4	1 2 6	1 8

注：区分毎に小数点以下を四捨五入しているため計は一致しない。

○製品生産量 (樹種別) (単位：千 m^3)

区 分		数 量			
		富山県	長野県	岐阜県	愛知県
ヒ ノ キ		-	4 3	1 5	4
木曽ヒノキ		-	6	-	-
天然サワラ		-	2	-	-
カ ラ マ ツ		-	3 1	6	-
そ の 他		-	8	1 3	1
計		-	9 0	3 3	4

注：区分毎に小数点以下を四捨五入しているため計は一致しない。